

平成29年度JK A補助事業に係る導入機器の評価について

【平成30年3月20日（火）15：30～ 本館6階 部会議室2】

1 参集者 平出所長、菊地副所長兼管理部長、大嶋副所長、伊藤技術交流部長、赤羽機械電子技術部長、諏訪材料技術部長、岡本食品技術部長、柏崎繊維技術支援センター長、小野県南技術支援センター長、大歳紬織物技術支援センター長、手塚窯業技術支援センター長

2 導入した機器

X線 CT 三次元測定機（機械電子技術部）

ア 機種 ニコン社製 MCT225

イ 購入先 (株)菱光社

3 実施経過

平成29年4月28日 銘柄指定委員会開催

7月27日 X線 CT 三次元測定機一般競争入札実施

7月28日 X線 CT 三次元測定機購入仮契約締結

10月10日 X線 CT 三次元測定機購入本契約(栃木県議会議決)

平成30年1月26日 X線 CT 三次元測定機 納品、検収

2月9日 X線 CT 三次元測定機支払い

4 現在までの使用状況

・X線 CT 三次元測定機

正副担当2名を配置し、運用を開始した。機器導入から約2ヶ月で、ヒーター内部の断線確認や電子基板における端子の接着具合の確認、3Dプリンタで作製した金属棒における巣の観察など、依頼試験で24時間の利用があった。その他、研究業務、技術相談・見学等を含め計72時間利用した。

5 今後予想される波及効果

・X線 CT 三次元測定機

従来の接触式三次元測定機や、レーザなどを用いた光学式非接触測定機では対応できなかった、内部構造の寸法・形状測定が可能となった。

これにより、製品開発段階でのデザイン検討や試作評価、加工工程での成形不良解析、最終段階での寸法検査など、製造プロセスの様々な場面で活用でき、これまで以上に多くの企業の試作開発や品質管理、製品開発を支援することが可能になると見込まれる。

6 総括

業界のニーズを常に把握しておくよう努めたため、交付決定後速やかに銘柄指定委員会の開催ができた。また、本庁工業振興課と産業技術センターが連絡を密にしたため、県内中小機械工業者のニーズを適切に踏まえた試験機器を予定どおり納入することができたと評価する。

導入後直ちに稼働を開始したことで、迅速に依頼試験・研究業務等への対応が図れている。

今後、技術者研修や企業からの技術相談など、あらゆる機会を通じて今回導入した機器のPRを積極的に押し進めるとともに、研究にて得られた高精度測定に関するノウハウを企業へフィードバックし、当該機器の十分な活用を図っていくこととする。